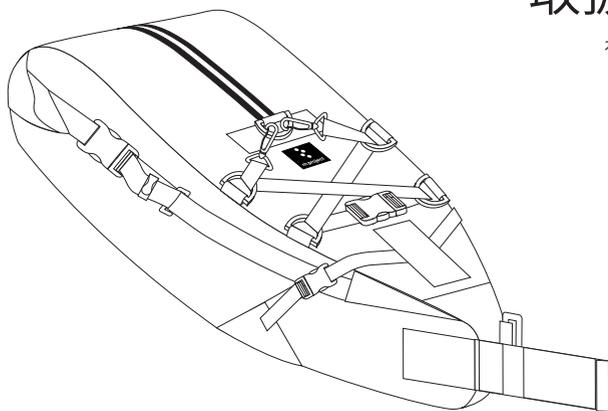


No.1517 防水トラベルサドルバッグ



取扱説明書

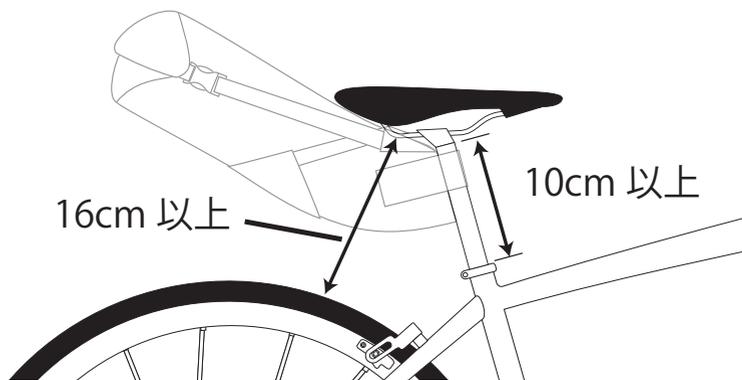
初版発行：2022.04.01



本書を熟読頂き、製品の特性をご理解頂いた上でご利用下さい。
本書は永久保存し、必要時にご覧ください。
スペックやデザインは改良のため予告なく変更することがございます。



取り付け可能サイズ



！ 注意

取り付け可能サイズに満たない場合は、バッグがタイヤと接触し、摩擦で穴が開く場合がございますのでご利用いただけません。
なお、サドルやフレームの形状によっては、サイズを満たす場合でも接触する場合がございますので余裕をもってご利用ください。

使用上の注意 製品の破損や事故を防止するため必ずお守りください。

- ❗ **正しい使用方法を守る**
※製品とタイヤが接触し破損や事故の恐れがあります。
- ❗ **ストラップは確実に締め、緩みがない状態で使用する**
※製品とタイヤが接触すると破損や事故の恐れがあります。悪路や長距離走行時は振動で緩む可能性がありますので、すべてのストラップは定期的に締まっているか確認してください。収納物が多い場合はバッグが揺れ、車体と接触する原因となります。ストラップが車輪に巻き込まれると事故の恐れがありますので、必ずまとめたり固定したりしてご利用ください。
- ❗ **本製品に気密性はありません**
※水中など水圧がかかる場所では浸水します。
- ❗ **開口部は少なくとも3回折り返して閉じる**
※折り返し回数が少ないと防水性が損なわれます。
- ⊘ **破損や亀裂の入った製品は使用しない**
※製品は定期的に点検してください。
- ⊘ **振り回したり勢いをつけて持ち上げない**
- ⊘ **火気に近づけない**

お手入れ方法

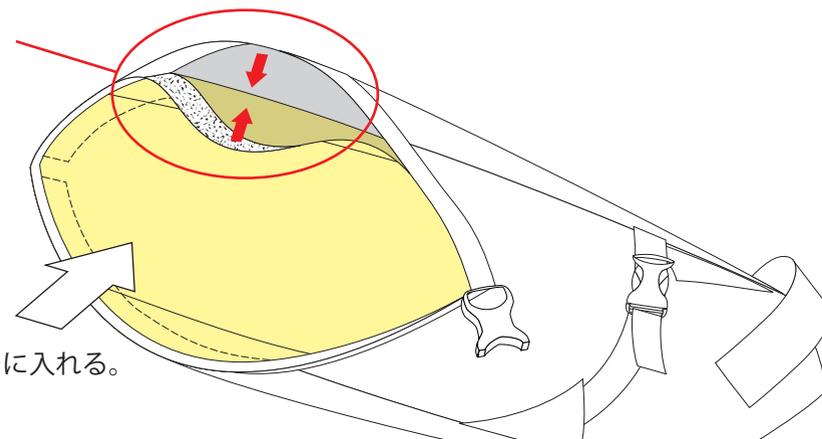
汚れは湿らせた布で軽く拭きとってください。丸洗いや薬品での拭き取りはお避けください。雨や泥染みなど繊維の奥に入り込んだ汚れが落ちないこともございます。

荷物の収納について

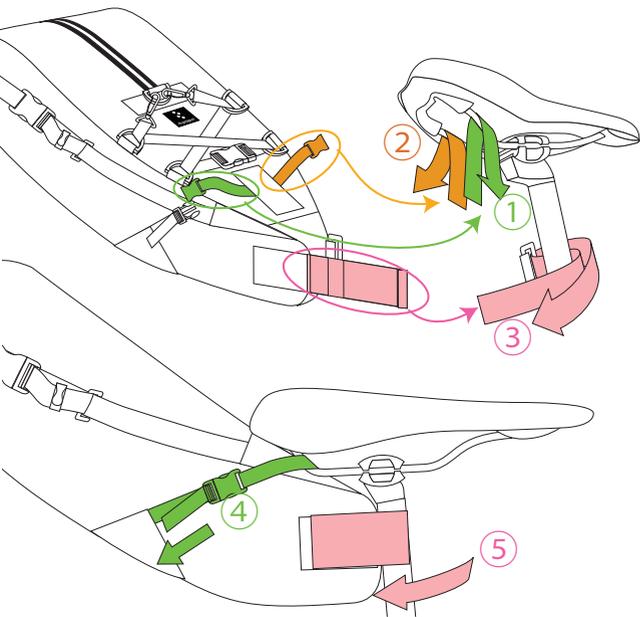
製造上の都合でバッグ開口部分に面ファスナー（マジックテープ）が付いていますが、中に物を入れることはできません。荷物は黄色の防水ライナーの中に入れてご利用ください。

面ファスナーを
閉じて使用する。

荷物は
防水ライナーに入れる。

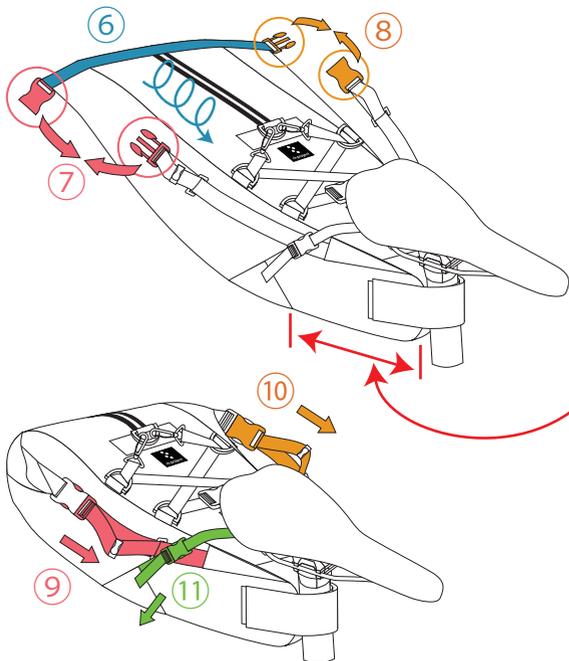


自転車への取り付け方法



- ①② サドルのレールにストラップを通します。
- ③ シートポストにストラップを取り付けます。
- ④ バックルを閉じストラップを締めます。
(反対側も同様に行います)
- ⑤ シートポストのストラップを締め、バッグを密着させます。

荷物の入れ方と、トラベルサドルバッグの閉じ方

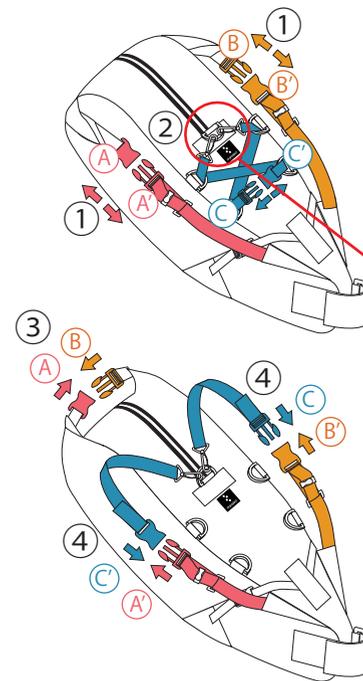


- ⑥ バッグを圧縮するように、開口部をしっかりと巻き、
- ⑦⑧ 左右のバックルを閉じます。
防水性を確保するために最低3回折り返してください。

先端部分に替えチューブなどを隙間無く詰め、形状を安定させるとバッグが振れにくくなります。

- ⑨⑩ 圧縮ストラップを引き、バッグをしっかり圧縮します。
- ⑪ ストラップ (反対側も) の緩みが無いことを確認して完成。

リュックサックとしての利用方法



輪行時にトラベルサドルバッグを両肩で背負って移動できます。

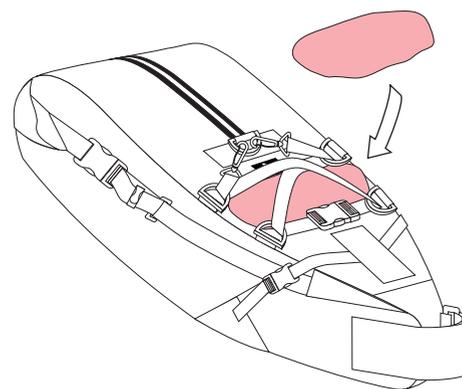
① 圧縮ストラップから左右のバックルを外します。図(A-A'),(B-B')

② 肩ストラップのバックル(C-C')を外し赤丸部分のプラフックを残して抜き取ります。

③ 口元のバックル(A-B)を閉じます。

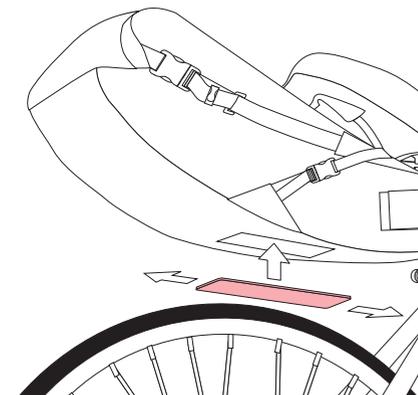
④ 肩ストラップと圧縮ストラップをつなげて(C'-A')、(C'-B')完成です。

肩ストラップの活用法



走行中は肩ストラップを利用して、濡れたポンチョやレインスーツ等をバッグ上部に固定できます。

タイヤプロテクター



タイヤからバッグの底面を守ります。タイヤの位置に合わせて位置を前後させてください。